
大晦日の夜に

伊藤ケースケ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大晦日の夜に

【Nコード】

N3822D

【作者名】

伊藤ケースケ

【あらすじ】

大晦日の夜ってなんかあたふたしてて嫌だよね。そんな夜にわけありの5人がおりなすショートストーリー。今日だけでも、「笑っていたい」

第一節

しかし今年は散々だった。妻の美佳と交わした喧嘩、数え切れねえなあ。

そうやって隆夫は煙草をふかした。

「結局思い通りになんかならないんですね。」ちよつとした喫茶店のラウンジで彼（隆夫）は僕に言う。「そうですか？」と僕は聞き返した。

「そうですよ絶対……って、また愚痴ってますね。」

「いえいえ……」、僕は苦笑してウイスキーを煽る。

隆夫が離婚届けを突き付けられたのが二ヶ月前。

いきなりー？いや、そんなことはない。長年連れ添ってきた仲だ。

予感はい、あった。

「特に理由はないのよ」と美佳は言っただけ。隆夫にとっては辛い言葉だった。

どうせなら不倫したり、彼女の家族のこともめたり、そういうようないな

「理由」が欲しかった。それが、

「ナニモナイ」。

なんか周りのものの全てがふわふわして、オレ何のために今までやってきたんだよって思う。テレビドラマの悲劇の主人公が羨ましい。

そして十日前、医者に告げられた一言。

全く現実には甘くない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3822d/>

大晦日の夜に

2010年10月28日05時20分発行